舞笛	鶴工業高等	事門学校	開講年度 令和02年度 (2	 2020年度)	授	業科目	韓国語Ⅱ				
	礎情報	10 4		/							
科目番号		0229		科目区分		一般 / 選技	·····································				
授業形態		授業		単位の種別と単位数 履修単位:							
開設学科		一般科目		対象学年 5			1				
開設期	1	後期		週時間数 2							
<u>救科書/</u>			曺喜澈「ことばの架け橋 改訂版」	(白帝社)							
担当教員		呉 青姫	, 自古/BX(ここは少木77/1何)以可/IX)(口中仁/								
		一一八									
2 日常	韓国語文法 会話の基礎	を理解する。 を身につける。)								
ルーブ	`リック										
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安				
評価項目	1		初級韓国語文法を正確に理解した。	初級韓国語文法をほぼ理解した。			初級韓国語文法をあまり理解しています。				
評価項目2			韓国語日常会話の基礎を正確に身 につけた。	韓国語日常会話の基礎をほぼ身につけた。			韓国語日常会話の基礎をあまり身 につけていない。				
学科の	到達目標工	項目との関	係								
	放育到達度目標				_						
教育方		. ,									
概要		韓国語で 本文法を 【Course The purp	【授業目的】 韓国語で基本表現を話せるようにすることを目的としている。そのため、ハングル(24文字)を正確に覚えたうえで基本文法を学習し、応用力を身につける。また、韓国語会話を通じて韓国文化、生活習慣などを学習する。 【Course Objectives】 The purpose of learning the Korean language is to understand culture, customs and life in Korea through speaking simple expressions.								
授業の進め方・方法		日常会話 めに、毎 【学習方注 会話に入 に注意し	【授業方法】 日常会話を中心に授業を進めるが、学生が会話に参加できるように時間を配分する。基本会話を効率的に身につけるために、毎週、授業中に小テストを実施する。 【学習方法】 会話に入る前に、ハングルを覚えておく必要があるので、前期中間までに正確に覚えること。ハングルの読み方は発育に注意して、CDを聴きながらきちんと覚えること。最近は韓流ブームで韓国に関する映画、雑誌、書物などが多く出いるので、それらを参考にしても良いと思われる。								
		中間・期 筆記試験の 【成績の記 成績は10 授業中の。 中間試験	【定期試験の実施方法】 中間・期末に筆記試験を行う。 筆記試験の時間は50分。 【成績の評価方法・評価基準】 成績は100点満点である。 授業中のパフォーマンス(10%) 中間試験(40%) 期末試験(50%)								
注意点		韓国・朝館 つ話とともに 重要性が 語の基本 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	【履修上の注意】 韓国・朝鮮語を本格的に学びたい人や韓国文化に興味を持っている人は誰でも歓迎します。近年、韓流ブームにとも って日韓の文化交流が活発になり、韓国の映画、ドラマ、書物なども多く入ってきています。この授業を通じて、韓 語とともに韓国の文化や生活習慣も学んでください。両国間の関係は、文化交流だけでなく、経済的な関係において 重要性が高まってきています。韓国語を学習し、両国の架け橋の役割をしたいと思っている学生はぜひこの授業で韓 語の基本表現を身につけてください。 【教員の連絡先】 研究室 B棟2階 非常勤講師室(B-206) 内線電話 8125 e-mail:								
授業計	·画										
I ~ H I	1	週	授業内容	週ごとの到達目標							
後期			シラバス内容の説明		1						
			名詞文・存在文・用言文の叙述・疑問								
			漢字語数詞の復習		1						
			次ず品数刷の後 目 否定形	1							
	3rdQ		<u> </u>								
			算敬形 1 目己紹介 2								
			自己紹介								
			中間試験								
			連用形		1						
			打ち解けた丁寧表現(ヘヨ体の叙述・								
			打ち解けた丁寧表現(へヨ体の叙述・		2						
	4thQ		へヨ体の尊敬形		2						
	I	13個	過丰形	-							

1

1

1, 2

13週

14週

15週

過去形

連体形

質疑応答

	16週	(15週目の後に期 期末試験返却・達成	15週目の後に期末試験を実施) 末試験返却・達成度確認											
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標														
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目		到達レベル	授業週								
評価割合														
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計							
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100	100						
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100	100						
専門的能力	厚門的能力 0		0	0	0 0		0							
分野横断的能力	0	0	0	0	0 0		0							